

分類 4-1 心身の健康づくりによる豊かな暮らし

心身の健康づくりを通じた健康なまちづくりを進めるため、女性の健康支援や高齢者等に対するフレイル予防や健康診査の促進、健康福祉施設の管理・運営、高齢者の見守りなど、地域で安心して暮らすことのできる地域包括支援を推進します。

施策1 心身の健康づくりの推進

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	日本全体の平均寿命は医療技術の進歩により延び続けていますが、食生活の変化や在宅ワークの増加といったライフスタイルの多様化は、心身の健康に様々な影響を与えています。町民一人ひとりが生涯にわたって健康づくりに取り組むことが、地域の活気を生み出す上で重要です。	身体の健康だけでなく、心の健康も考慮し、健康づくりに関する情報を提供します。また、町民の健康を家庭だけでなく地域全体で支えるため、健康支援に必要な人材を育成し、支援団体の活動もサポートします。さらに、食を通じた健康づくりを推進するために、食育や生活改善の指導を行います。未病センター・なかい健康づくりステーションは町民の健康づくりの拠点として、健康の見える化や身体活動の習慣化の支援とともに、県や近隣自治体と協力し、町民の心身の健康づくりを進める活動を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進事業 健康診査事業 がん検診・結核健診事業 健康プラン推進事業 保健福祉センター施設運営管理事業

施策2 高齢者福祉の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町では、2025年から2045年頃にかけて65歳以上の高齢者が最も多くなると予測されています。この高齢化に伴い、介護や様々な病気の発症が増えるため、多くの人が福祉支援を必要とすることが考えられています。これを地域全体で支える仕組みを早急に構築することが重要であり、自立した生活を送るための未然の対策も必要です。	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その人の有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用しながら、「医療」、「介護及び介護予防」、「生活支援」などを包括的に確保する「地域包括ケアシステム」のさらなる深化と、地域住民や地域の多様な主体の参画・連携を通じて、高齢者だけの問題に捉われない様々な生活上の困難を支え合う地域社会の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉事業 敬老事業 介護保険事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、心身の健康づくりに向けた日常的な運動の実施や食生活の見直し、様々な世代との交流などの地域活動への積極的な参画などが望まれます。
- 事業者は、従業員の心身の健康に配慮したサポート環境の提供などが望まれます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	趣味や学びなど好きなことをしたり、 自分自身をケアするための時間を持つ ことができる	3.43	3.66
施策指標	心身ともに豊かな暮らしができる地域 づくりを進める	3.13	3.15
	高齢者になっても健康で豊かな暮らし ができる地域づくりを進める	2.82	2.87

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 中井町健康増進計画・食育推進計画(第2期)
- 中井町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創
生

分類 4-2 地域で支える安心した子育て環境の整備

子育て世代に選ばれるまちを実現するため、出産や小児医療などの充実を図るとともに、ネウボラや親子の居場所づくりなどの子育て環境を構築し、地域全体での子育て支援環境を整備します。

施策1 子育て・子育て支援の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	日本全体での合計特殊出生率は2023年には1.3人程度となり、2024年の年間の出生数が70万人を下回るなど、少子化が進行しています。本町でも出生率が低下しており、子育てに伴う経済的負担や晩婚化といった社会的要因が影響しているため、安心して子育てができる環境を整える必要があります。	こども家庭センター「なかいネウボラ」において、子育てに対する不安や、様々な心配ごとを抱えたこどもやその家庭の相談に対応するため、妊娠から出産、0歳から18歳までのこどもとその家庭が安心して過ごせる地域環境整備の充実を図ります。これには経済的な負担の軽減や、専門職による相談体制の連携、強化が含まれます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化対策事業 ・ 妊娠・出産包括支援事業 ・ 母子保健事業
②	核家族化や地域内でのコミュニケーションの減少により、孤独や不安を抱える保護者が増えています。また、在宅ワークの増加など、子育て世代の働き方にも変化が生じています。このため、子育て世代のニーズに応じた対策が求められます。	子どもが健全に育つための環境を提供することに加え、多様な働き方と女性の社会参画を促進するために、こども園を運営し教育・保育ニーズに応じたサービスを提供します。また、地域全体で子育てを支える仕組みを構築し、切れ目ない子育て環境作りに努めます。加えて、障がいのある子どもが必要な療育等を受けられるよう支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・保育支援事業 ・ 自立支援給付事業 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ なかいこども園管理運営事業 ・ 児童手当事業 ・ 子育て支援センター「ひまわり」運営事業 ・ ファミリーサポートセンター運営事業
③	子育て世代の社会環境は様々で、経済的な課題や家庭の事情で育児が難しい家庭や不安を抱える子どもたちがいるため、地域全体で支える仕組みが必要です。	ひとり親家庭などの経済的課題や育児時間の確保が困難な家庭への相談体制を確立し、地域とともに支援の場を提供することで、皆が健やかに育つよう支えます。また、行政や地域団体が連携して児童虐待の予防や早期発見に取り組み、子どもに対する支援体制を充実させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり親家庭等支援事業 ・ 要保護児童対策事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、地域全体で子育てを行うことが地域のにぎわいを生み出すことと認識し、地域連携によって子育て世代に選ばれる町となるよう取り組むことが望めます。
- 事業者は、育休や産休制度の実施や、子育て世代に対する時短勤務やフレックス勤務など、多様な働き方が可能となるような労働環境の構築を進めることが望めます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	日常の主な活動(仕事・学業・家事・社会活動・余暇活動など)の調和がとれていると感じている	3.41	3.50
施策指標	安心して子どもを産み育てられ、子育てがしやすい環境を整備する	3.16	3.19

出典:中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 子ども・子育て支援事業計画
- 中井町健康増進計画・食育推進計画(第2期)
- 中井町第7期障がい福祉計画・中井町第3期障がい児福祉計画

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

分類 4-3 いつまでも自分らしく暮らせる医療環境の充実

中井町で暮らす誰もがいつまでも自分らしく暮らすことができるよう、地域医療機関との連携を通じて、医療の充実を図ります。

施策1 地域医療環境の充実

	現状と課題	施策実施方針	主な事業
①	本町では、日常的な病気や怪我に対応する一次医療が中心となっている診療・救急医療・夜間診療の体制があります。しかし、今後高齢化が進み、町の人口が減少することで、現在の医療体制を維持するのが難しくなる恐れがあります。そのため、近隣の市町と協力して安心できる医療環境の構築が求められています。	医師会や関連機関と連携して、必要な医療機関を確保し、地域のかかりつけ医の定着や在宅医療の充実を目指します。また、専門的な技術が必要な二次・三次医療については、近隣自治体の高度医療機関との連携を進め、救急搬送の体制を強化します。加えて、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症への危機管理対策を推進し、町民への影響を最小限に抑えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者医療給付事業 ・ 国民健康保険事業 ・ 後期高齢者医療事業 ・ 予防接種事業 ・ 感染症対策事業 ・ 地域医療連携事業 ・ 救急医療事業
②	子育て世代のライフスタイルの変化により、子どもが病気になったときのニーズも多様化しています。子育て環境を整えるためには、小児医療体制の充実が不可欠であり、安心して仕事と家庭の両立が出来るよう支援が求められています。	平時からの子育て環境の充実に加え、子どもに対する医療の経済的負担を軽減する助成を行います。また、小児医療費助成の申請を効率化するため、小児医療証の電子化などのデジタル技術導入を検討します。子育て家庭向けに、病気の子どもを預かる保育施設の環境を整えることで、様々な子育てニーズに対応した支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児医療費助成事業 ・ 病児・病後児保育事業

幸福なまちづくりを進めるために

- 町民は、定期健診の受診等による自身の健康管理に努めるとともに、地域の医療に関する情報を収集、共有することで地域医療への意識を高めることが望めます。
- 事業者は、地域内における医療機関や診療所として、質の高い医療サービスを提供するとともに、他の医療機関や行政と連携し、包括的な地域医療体制の構築することが望めます。

施策目標

幸せ指標		現状値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
Well-Being 実感指標	多少の問題や課題があっても、乗り越えられると思う	3.74	3.84
施策指標	必要な医療を適切に受けられ、病気の予防や健康づくりに関する相談・指導を受けられることができる環境を整備する	2.95	2.98

出典：中井町民Well-Being意識調査

関係する個別計画

- 子ども・子育て支援事業計画
- 美・緑なかい健康プラン(中井町健康増進計画・食育推進計画)

関連する地方創生2.0基本構想の政策の5本柱

- (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用